



東北大学

平成 24 年 4 月 24 日

報道機関各位

東北大学総合学術博物館

東北大学総合学術博物館企画展
「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」
開催のお知らせ(4/28～6/17開催)

東北大学医学部出身の作家である「どくとるマンボウ」こと故・北杜夫氏は、幼少の頃から昆虫採集に傾倒し、その著作にも数多くの昆虫を登場させてきました。中でも氏自身の昆虫にまつわる体験や観察をもとに描かれたエッセイ「どくとるマンボウ昆虫記」(1961年)には、チョウ・トンボ・バッタからノミ・シラミに至るまで185種もの虫たちが現れます。昆虫に対する深い洞察と愛情、独自の自然観をユーモアたっぷりに著した文章は、現在も子どもから大人まで広く親しまれています。

今回の企画展「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」は、2011年10月に84歳で逝去した北杜夫氏への追悼の思いを込めながら、「どくとるマンボウ昆虫記」に登場する昆虫のほぼ全種類(185種中183種)を氏の文章とともに紹介します。氏自らが採集した標本や、実際に使用していた採集用具も展示します。また「どくとるマンボウ青春記」(1968年)にえがかれた東北大学や仙台のようすもあわせて紹介します。氏の面影を感じつつ、氏が愛した昆虫たちの世界にふれる展示会です。

関連行事として、5月3日(木)に今回の展示物の制作者で日本昆虫協合理事の新部公亮氏によるギャラリートーク、6月2日(土)に北杜夫氏のご息女でエッセイストの斎藤由香氏による講演会を開催する予定です。

なお4月28日(土)13時より、展示会場にて開展式をとりおこないます。

主 催: 日本昆虫協会、日本アンリ・ファーブル会、東北大学総合学術博物館
協 力: 軽井沢高原文庫、世田谷文学館、東北大学史料館、東北大学附属図書館医学分館
開催期間: 2012年4月28日(土)～6月17日(日)
会 場: 東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館)展示室1階および2階
入 場 料: 大人150円、小・中学生80円(20名以上で団体割引: 大人120円、小・中学生60円)
ホームページ: <http://www.museum.tohoku.ac.jp/>

=====

◆展示構成

第1部:はじめに 北杜夫の紹介

北杜夫の略歴、どくとりマンボウ昆虫記の概略を紹介します。

＜展示物＞

- ・どくとりマンボウ昆虫記創作余話
- ・北杜夫の写真(少年時代、青年時代)
- ・北杜夫の年表

第2部:ムシ屋北杜夫の昆虫採集

北杜夫自身が採集して著作中に登場させた昆虫の標本や、実際に使用していた採集道具などを展示。昆虫愛好家であった北杜夫の姿を表わします。

＜展示物＞

- ・北杜夫自身が採集した標本
- ・自身が使用した採集道具
- ・自身が使用した昆虫図譜
- ・昆虫記と幽霊について書かれた色紙2点
- ・幽霊の鏡箱(標本箱1箱)
- ・「ファールブル昆虫記について」の原稿

第3部:どくとりマンボウ昆虫記の世界

どくとりマンボウ昆虫記に登場する昆虫を文章とともに展示。北杜夫の昆虫に対する洞察や思い、世界観について実物標本をみながら体感してもらいます。

＜展示物＞

- ・どくとりマンボウ昆虫記を具現化した標本箱21箱
- ・昆虫記創作ノート(複製)
- ・どくとりマンボウ昆虫記初出典の週刊公論

第3部の特別付属:父 斎藤茂吉の虫の歌

父斎藤茂吉がよんだ虫の歌と、それに関係する北杜夫の文章、その昆虫の標本をあわせて展示。父と子の間を昆虫が仲介していて興味深いです。

＜展示物＞

- ・斎藤茂吉の虫の短歌22面
- ・茂吉と宗吉の写真

第4部:北杜夫が学んだ東北大学と仙台

「どくとりマンボウ青春記」にえがかれた東北大学や仙台のようすを紹介します。

＜展示物＞

- ・当時の医学部内の写真
- ・卒業生よせがき
- ・斎藤宗吉肖像写真
- ・博士論文・論文目録・芥川賞受賞記事
- ・『別冊新評』昭和50年北杜夫特集号1冊
- ・河野與一氏旧蔵のマント

- ・北杜夫関係仙台地図パネル
- ・同級生インタビュービデオ映像

第5部:追悼 北杜夫

北杜夫との親しい交流を表す品々を展示。追悼の思いを込めています。

＜展示物＞

- ・万能はがき(複製)
- ・マブゼ国紙幣・VISA
- ・北杜夫氏に献名した新種マンボウビロウドコガネの標本
- ・新部氏所有コガネムシの桐箱2箱
- ・「夏のニセコの森と風(2006年)」の原稿
- ・「手塚さんの偉大さ」の原稿(複製)
- ・追悼文
- ・北杜夫の写真(晩年)
- ・ビデオ映像「軽井沢高原文庫でのトークショー」
- ・2011年に書かれた自筆メッセージ(複製)

◆関連行事

1)ギャラリートーク

日時:2012年5月3日(木・祝日) 13:30より

会場:東北大学理学部自然史標本館展示室1階

講師:新部公亮(日本昆虫協会理事)

2)講演会

日時:2012年6月2日(土) 時間未定(13時ころから)

会場:東北大学理学部キャンパス内講義室

講師:斎藤由香(北杜夫氏ご令嬢, エッセイスト)



東北大学総合学術博物館 企画展

追悼・北杜夫



どくとる マンボウ 昆虫展



2012年4月28日 | 土 | ▶ 6月17日 | 日 |

東北大学総合学術博物館 (理学部自然史標本館)

主催：日本昆虫協会、日本アンリ・ファール会、東北大学総合学術博物館

協力：軽井沢高原文庫、世田谷文学館、東北大学史料館、東北大学附属図書館医学分館





松本高校時代

娘の由香さんと(2008年)

東北大学医学部出身の作家である「どくとるマンボウ」こと故・北杜夫氏は、幼少の頃から昆虫採集に傾倒し、その著作にも数多くの昆虫を登場させてきました。中でも氏自身の昆虫にまつわる体験や観察をもとに描かれたエッセイ「どくとるマンボウ昆虫記(1961年)」には、チョウ・トンボ・バッタからノミ・シラミに至るまで185種もの虫たちが現れます。昆虫に対する深い洞察と愛情、独自の自然観をユーモアたっぷりに著した文章は、現在も子どもから大人まで広く親しまれています。今回の企画展「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」は、2011年10月に84歳で死去した北杜夫氏

への追悼の思いを込めながら、「どくとるマンボウ昆虫記」に登場する昆虫のほぼ全種類(185種中183種)を氏の文章とともに展示します。氏自らが採集した標本や、実際に使用していた採集用具もあわせて紹介します。また、「どくとるマンボウ青春記」にえがかれた東北大学や仙台のようすがわかる展示も行います。氏の面影を感じつつ、氏が愛した昆虫たちの世界にふれてみてください。



▲北杜夫氏の著作

北杜夫氏自身が採集した標本。「どくとるマンボウ青春記」の一節にある、父茂吉が作歌している傍で観察した狩獵蜂など。▶



企画展「追悼・北杜夫 どくとるマンボウ昆虫展@東北大学」 東北大学総合学術博物館(東北大学理学部自然史標本館)

●交通

- (1) 仙台市営バス：JR 仙台駅西口バスプール9番のりばより、「青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由 動物公園循環(719系統)」に乗り、「理学部自然史標本館前」で下車。徒歩1分。所要約20分。または同じく9番のりばより、「宮教大」行きか「青葉台」行き、「成田山」行き(710・713・715系統)に乗り、「情報科学研究科前」で下車。徒歩4分。所要約25分。
- (2) 仙台観光シティーバス「るーぶる仙台」：JR 仙台駅西口バスプール15-3番のりばより乗車。「理学部自然史標本館前」で下車。所要約30分。
- (3) 自家用車：東北自動車道仙台宮城インターチェンジより仙台市街方面へ向かい、仙台西道路青葉トンネルを出て右折2回、大橋を渡る。駐車場有。

●開館時間

10:00 ~ 16:00

●開催期間中の休館日

5/1, 5/7, 5/14, 5/21, 5/28, 6/4, 6/11

●入館料

大人 150 円(団体 120 円)、小中学生 80 円(団体 60 円)

※団体は20名以上。



◇お問い合わせ

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
TEL/FAX 022-795-6767
<http://www.museum.tohoku.ac.jp/>